

2024年度事業計画

I. 事業方針

地球温暖化対策のみならずエネルギーの安定供給の確保の観点から、風力発電は発電容量を増やすべく陸上から洋上、着床式から浮体式への流れが加速しているほか、エネルギーの「安全性・安定供給・経済性・環境」の重要性も高まっている。また、気候変動に伴う災害激化への対応は社会全般の課題であり、官民間問わずハード対策のみならず情報活用によるソフト対策の必要性が増している。他方、デジタルデータ活用に対する関心も高く、気象データと組み合わせたうえで新たな価値を創出する動きへの期待も高い。いずれも日本気象協会の各事業に大きく関わる事象であり、これらの社会課題に応えることが求められている。

このような社会情勢を意識し、強みを活かし弱みを克服し顧客価値創造推進による利益向上を実現すべく、2024年度は次の事業推進方針により活動する。

【事業推進方針】

- a) 技術&市場優位性を有する事業の推進強化
- b) 採算性ならびに市場性を考慮した運営の改善や見直し
- c) DX推進による顧客価値創出事業のビジネス化や新たな取り組みへの挑戦

II. 事業内容

(1) 技術&市場優位性を有する事業の推進強化

風力事業の拡張を筆頭に、各分野で今後の市場拡張が期待され、日本気象協会が強みを有する事業をより成長させる。

<主な取り組み>

- ・ 洋上風力事業の推進
- ・ エネルギーマネジメント事業（発電出力予測、電力需要予測等）の推進
- ・ 水防および海象関連技術の高度化による独自サービスの展開

(2) 採算性ならびに市場性を考慮した運営の改善や見直し

競合事業分野の中で、市場拡張が持続し日本気象協会の優位性を発揮できる分野等は、技術強化や処理効率化等により競争力を強化、確実な業務堅持や業務拡張によって利益維持拡大を目指す。また、市場が真に求めているコンテンツサービスの充実ならびにサービスの最適化を進める。

<主な取り組み>

- ・ 独自技術導入や処理改善による交通分野の維持拡張

- ・ tenki.jp 事業の改善徹底
- ・ 事業の見直しによる経営資源転換促進
- ・ 火力アセスメント関係

(3) DX 推進による顧客価値創出事業のビジネス化や新たな取り組みへの挑戦

事業戦略開発部取り組み事象の収益化および各部署での DX に向けた取り組みを促進させる。

＜主な取り組み＞

- ・ ウェザーマーケティングプロジェクトの推進
- ・ サプライチェーン(製造・小売・物流企業)全体の業務開拓
- ・ デジタルデータを活用した新たな SNS コンテンツマーケティングの拡張
- ・ 新たな取り組みへの挑戦

(4) 公益目的支出計画

2024 年度の公益目的支出計画は下記の区分で実施し、実施後に内閣府公益認定等委員会に報告する。

a) 一般市民への防災知識等の普及を図る事業（継続事業 1）

- ・ 気象・気候等に関する講演会・講習会の実施および講師の派遣
- ・ 国や地方自治体の防災イベントへの参加、協賛等
- ・ 拡張現実 (AR) 技術を活用した豪雨・暴風の疑似体験装置を通じた防災・減災意識の普及啓発
- ・ 低年齢層を対象とした防災知識普及、キャリア教育の実施、企業訪問の受け入れ、防災絵本「防災スイッチ」等の寄贈

b) 調査研究の成果を広く学術・科学技術振興に供する事業（継続事業 2）

- ・ 京都大学防災研究所に設置した寄附講座「気象水文リスク情報研究部門」における革新的な気象水文情報に関わる先端研究の推進
- ・ 京都大学と波浪予測精度向上を目指した「漂流ブイ・データ同化共同研究」の推進
- ・ 政策研究大学院大学と共同する防災政策研究教育の推進

c) 公益事業の事務局を運営しその達成を助成する事業（継続事業 3）

- ・ 電力気象連絡会および鉄道気象連絡会の事務局運営
- ・ 地球ウォッチャーズ気象友の会の事務局業務

d) その他公益事業

岡田記念事業として、気象事業貢献者の顕彰（日本気象協会岡田賞）を実施する。

以上